森のたより

4.7.2018

すっかり春らしくというより、もはや初夏を感じる毎日です。ご子息、ご令嬢の入園・進級誠におめでとうございます。

ずっと前から気になっていた砂場の遊びを見直しました。結果、砂場に水道を設け。たんぽぽの前に乳児たちが使いやすい小さな砂場を作りました。子どもたちは泥水で遊ぶようになり、結果衣類を汚すことが多くなると思います。

ロバートフルガムの名著に「人生で大切なことはすべて幼稚園の砂場で学んだ」があります。まさしく今までよりずっと学べるようにとの思いでの新設です。お洗濯大変ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

すみれの入り口の改装に続き、二階のゆり組の入り口も改装いたします。経年劣化で引き戸がスムーズに動かなくなり、他の部屋とのバランスや学びの環境の統一を図り、引き続いての工事となります。こちらもどうぞよろしくご理解くださいますようお願いします。

新年度早々、お願いばかりのお便りになりましたが、どうぞこの一年。よろしくお願いいたします。

４月の行事予定とお願い

16・17日　発育測定　　身長・体重などを測定して記録します。

26日　避難訓練　　最初の訓練です。どんな警報が鳴るのかみんなで聞きます。

27日　春の遠足　（雨天が予想される場合は改めてお知らせします）

近くの公園などへの徒歩遠足です。手作りのお弁当の準備をお願いします。

（0歳のつくし組は遠足に行きませんからお弁当は必要ありません。）

未定　異文化交流　　以上児クラスがECCジュニアーの英語文化にふれます。

5月7日　はなまつり　　お釈迦様のお誕生日をお祝いします。
お花でお飾りします。お花をお持ちよりください。

●置き引き事件は正面駐車場での発生が多くみられます。施錠確認お願いします。
○午後5時以降は正面駐車場への駐車待ち車両の停車はご遠慮ください。
正面に空きが無い場合は、東、或いは西駐車場に迂回してください。
○東駐車場は前向き駐車、西駐車場はバックで駐車。
いずれも排気ガスは園に向きます。 駐車中のアイドリングは禁止です。
ルールを守って気持ちよく利用して下さい。
○2号3号子どもの延長保育はｻｸﾗｼｽﾃﾑで午後6時にカウントします。
余裕を持っての送迎をお願いします。
尚、カードチェックしないと延長料金をそのまま請求します。ご注意ください。



ながら
こどもの森

森のたより　解説

4.7.2018

ご入園、ご進級まことにおめでとうございます。

始業式や入園式を待っていてくれたのでしょうか。開花の遅いサクラが満開となりました。こどもたちは優しい花に触れ、その花びらの優しい柔らかさを実感します。

実にこどもたちの感性はみごとです。このように柔らかな感性を持つこどもたちとこの一年をともにします。現在の「ながらの幼児教育」（柔らかな担当制による乳児クラス、マルチエイジの幼児クラス）を始めてから9年目を迎えます。

来年から認定こども園教育保育要領が改正されます。いままで、どちらかといえば「何を学ぶか」でなく、「何を教えるか」に傾いてきた乳幼児の教育でした。何かを丸暗記させたり、大人の興味を子供に押し付けてきたのです。今回こそそれを揺り戻す改定になってほしいものです。世界的に非認知能力への関心が高まる中、日本も変わろうとするようです。

フレーベルスタイルは幼児教育の基本です。その基本にモンテッソリーやシュタイナーというアレンジがなされます。すべて押し付けでなく、子ども自身の学習意欲や興味を基になされるオルタナティブ教育です。

私たちのアレンジはハンガリーのマイバやオランダのイエナプランを手本してnagaraを作ろうとしています。おこさまを真ん中に、保護者の皆様と手を携えて確かな成長のお手伝いをさせていただきます。

どうぞこの一年。よろしくお願いいたします。

オルタナティブ教育とは、子供の自主性を大切にしながら子供自身の学習意欲や興味に沿いながら進めていく教育です。モンテッソーリ教育、シュタイナー教育、フレネ教育など、教師は知識を教える役割ではなく、子供たちが自ら学んでいくためのサポーターとして捉えているのが日本の教師の役割とは大きく異なる点です。
又、これらの教育方法のクラスは異年齢クラスがほとんどです。

イエナプラン教育は、ドイツで始まりオランダで広がった、一人一人を尊重しながら自律と共生を学ぶオープンモデルの教育です。ドイツの大学教授、ペーター・ペーターセンは、学校を「様々な社会階層や異なる宗教の子ども達を差別なく受け入れ、知識やスキルを身につけるのではなく、将来社会に能動的に自立して参加するための幅広い能力を学ぶ場」として位置付け、実験校で創始しました。

モンテッソーリ教育は、子供の自主性を最大限活かした教育法です。日本語では「感覚教育」と言われ、子供の五感を育てることができるよう、目に入ったもの感じるものを感覚的に自発的に学んでいくことを促す教育法です。この教育法で最も尊重するのは、「子供達が安心して自由に個別活動すること」です。月齢や年齢ごとに子供達の興味の対象が移り変わっていく点に着目し、脳生理学に基づいて、様々な能力の獲得にはそれぞれ最適な時期があると結論付け、これらは「敏感期」と名付けられています。そして、モンテッソーリ教育ではこの敏感期に子供がやりたがる活動を、子供が「自分を高め成長させるもの」だと捉え、“仕事”と呼びます

ながら
こどもの森